

【令和元年度 山武市立山武西小学校 学校評価アンケート結果報告】

結果報告に先立ちまして、次のことをご理解ください。令和元年度の学校評価アンケートは7月・12月の2回実施しました。その際、1回目は実施時期の遅れと本アンケート趣旨の周知徹底が不十分だったことにより回収率が著しく低かった(保護者 52.6%、地域 28.2%)ことで、関心の高い方の肯定的評価が高く現れることになってしまったと思われます。2回目は、保護者 84.2%、地域 53.8%の回収率を得ましたので、増減比較を示していますが、考察は主に2回目の結果を重視させていただきました。

【アンケート回収数】 1回目→2回目

- ・児童総数 76 名 (1 回目は 75 名) : 72 名→72 名
- ・保護者数 76 名 (1 回目は 75 名) : 40 名→64 名 **24 名増↑**
- ・地域総数 39 名 : 11 名→21 名 **10 名増↑**

※この結果は、質問に対する肯定的な回答率(下記 A、B を選んだ人数)を比較しています。

(A: あてはまる、B: ややあてはまる、C: ややあてはまらない、D: あてはまらない、E: わからない)

※分母は「E: わからない」を選んだ人数を差し引いています。

◀「知」に関する項目▶

【質問】教師は、新しい教材や教具を用いて、学力の向上に努めている。【学力向上について】

回答者	1 回目 (%)	2 回目 (%)	増減
児童	61 人／70 人 (87.1)	67 人／71 人 (94.4)	6 人増↑ 7.3%増↑
保護者	35 人／36 人 (97.2)	52 人／60 人 (86.7)	17 人増↑ 10.5%減↓
地域	6 人／7 人 (85.7)	11 人／13 人 (84.6)	5 人増↑ 1.1%減↓

◇本校では、積極的に PC やタブレット PC 等の ICT 機器を授業に取り入れていることが評価されていると考えます。今後も進めていきたいと考えます。

【質問】児童は、基礎的な学習内容を身につけている。【基礎学力について】

回答者	1 回目 (%)	2 回目 (%)	増減
児童	70 人／71 人 (98.6)	69 人／71 人 (97.2)	1 人減↓ 1.4%減↓
保護者	28 人／40 人 (70)	53 人／62 人 (85.5)	25 人増↑ 15.5%減↓
地域	7 人／7 人 (100)	9 人／12 人 (75)	2 人増↑ 25%減↓

◇児童の評価と保護者の評価が 10%以上差があります。地域とはさらに 10%差があります。期待する基礎的な学力に開きがあるようです。求めている部分の違いを明らかにする必要がありますと考えます。

【質問】児童は、自分の考えを説明する力を身につけている。【表現力について】

回答者	1 回目 (%)	2 回目 (%)	増減
児童	48 人／66 人 (72.7)	54 人／67 人 (80.6)	6 人増↑ 7.9%増↑
保護者	28 人／39 人 (71.8)	40 人／63 人 (63.5)	12 人増↑ 8.3 減↓
地域	7 人／7 人 (100)	9 人／12 人 (75)	2 人増↑ 25%減↓

◇児童の約 80%が肯定しているのに対して、保護者は 63.5%、地域も 75%と低い評価です。言葉を発して表現する部分について、まだまだ足りないと考えられます。今後、対話する場面を増やしたり、根拠を伴った論理的な話し方・表し方を習慣化させたりすること等を指導する必要性を感じます。

【質問】児童は家庭学習をしている。保護者は家庭学習等を応援している。【家庭学習等について】

回答者	1 回目 (%)	2 回目 (%)	増減
児童	62 人／70 人 (88.6)	67 人／72 人 (93.1)	5 人増↑ 4.5%増↑
保護者	34 人／40 人 (85)	53 人／64 人 (82.8)	19 人増↑ 2.2%減↓
地域	6 人／7 人 (85.7)	9 人／13 人 (69.2)	3 人増↑ 16.5%減↓

◇児童の 90%以上が家庭学習に肯定的ですが、保護者と地域はもっと家庭学習に取り組めると考えているようです。学校外での学習の場づくりにも課題があると考えます。

【質問】 児童は、体験活動を通して、自然環境に親しみを抱いている。【自然体験活動について】

回答者	1 回目 (%)	2 回目 (%)	増減
児童	63 人／71 人 (88. 7)	63 人／69 人 (91. 3)	同→ 2. 6%増↑
保護者	38 人／40 人 (95)	57 人／62 人 (91. 9)	19 人増↑ 3. 1%減↓
地域	8 人／8 人 (100)	13 人／15 人 (86. 7)	5 人増↑ 13. 3%減↓

◇体験活動を通して、自然環境への親しみを抱いていることがわかります。西小の周りの自然環境を今後も教育活動に生かしたいと考えます。

≪「徳」に関する項目≫

【質問】 児童は、楽しく(夢や目標を持ち)学校に通っている。【楽しい学校について】

回答者	1 回目 (%)	2 回目 (%)	増減
児童	66 人／72 人 (91. 7)	63 人／71 人 (88. 7)	3 人減↓ 3%減↓
保護者	35 人／40 人 (87. 5)	58 人／63 人 (92. 1)	23 人増↑ 4. 6%増↑
地域	7 人／7 人 (100)	12 人／13 人 (92. 3)	5 人増↑ 7. 7%減↓

◇児童、保護者、地域ともに、約 90%の肯定的回答を得ているが、児童にとって学校が楽しいものであるように、100%を目指した取り組みが必要だと考えます。

【質問】 児童は、係や当番活動などで、自分の役割を果たしている。【役割活動について】

回答者	1 回目 (%)	2 回目 (%)	増減
児童	63 人／69 人 (91. 3)	68 人／72 人 (94. 4)	5 人増↑ 3. 1%増↑
保護者	34 人／36 人 (94. 4)	62 人／64 人 (96. 9)	28 人増↑ 2. 5%増↑
地域	7 人／7 人 (100)	9 人／11 人 (93. 2)	2 人増↑ 6. 8%減↓

◇役割活動は、皆から高い肯定的評価を得ています。引き続き、取り組みを続けていきます。

【質問】 児童は、挨拶や返事などの習慣が身についている。【生活習慣について】

回答者	1 回目 (%)	2 回目 (%)	増減
児童	59 人／72 人 (81. 9)	67 人／72 人 (93. 1)	8 人増↑ 11. 2%増↑
保護者	32 人／39 人 (82. 1)	54 人／64 人 (84. 4)	22 人増↑ 2. 3%増↑
地域	8 人／8 人 (100)	15 人／17 人 (88. 2)	7 人増↑ 11. 8%減↓

◇挨拶や返事などについては、児童と保護者では約 9%の差があります。学校と家庭・地域での挨拶の仕方等に差が無いよう、分析と指導を進めます。

【質問】 児童は、いじめをされたり、したりしていないと思う。【いじめについて】

回答者	1 回目 (%)	2 回目 (%)	増減
児童	66 人／72 人 (91. 7)	53 人／71 人 (74. 6)	13 人減↓ 17. 1%減↓
保護者	36 人／38 人 (94. 7)	46 人／61 人 (75. 4)	10 人増↑ 19. 3%減↓
地域	5 人／6 人 (83. 3)	9 人／10 人 (90)	4 人増↑ 6. 7%増↑

◇児童・保護者ともに肯定的評価が約 75%であり、評価が低い。学校では積極的に児童間のいじめを認知し、早期発見・解決に努めていますが、いじめゼロを目指し、指導していきます。

【質問】 学校は、誰もが学びやすい教育の環境を整えている。【教育環境について】

回答者	1 回目 (%)	2 回目 (%)	増減
児童	63 人／68 人 (92. 6)	65 人／71 人 (91. 5)	2 人増↑ 1. 1%減↓
保護者	35 人／38 人 (92. 1)	52 人／62 人 (83. 9)	17 人増↑ 8. 2%減↓
地域	9 人／10 人 (90)	14 人／16 人 (87. 5)	5 人増↑ 2. 5%減↓

◇80%以上の評価を得ていますが、今後も ICT 機器の整備や児童が過ごしやすい環境の整備に努めていきます。

《「体」に関する項目》

【質問】児童は、積極的に運動し、健康な体作りに取り組んでいる。【体力作りについて】

回答者	1回目 (%)	2回目 (%)	増減
児童	56人／71人(78.9)	61人／72人(84.7)	<u>5人増↑</u> <u>5.8%増↑</u>
保護者	31人／40人(77.5)	55人／64人(85.9)	<u>24人増↑</u> <u>8.4%増↑</u>
地域	7人／7人(100)	10人／12人(83.3)	<u>3人増↑</u> <u>16.7%減↓</u>

◇約85%の評価を得ました。本校は通年で「朝のリフレッシュ運動」に取り組んでいますが、「積極的に」まではいかない面が見られるのでしょうか。やり方の工夫も課題にしたいと考えます。

【質問】学校は、適切に、児童の体力向上に取り組んでいる。【体力向上について】

回答者	1回目 (%)	2回目 (%)	増減
児童	58人／69人(84.1)	60人／69人(87.0)	<u>2人増↑</u> <u>2.9%増↑</u>
保護者	38人／39人(97.4)	57人／63人(90.5)	<u>19人増↑</u> <u>6.9%減↓</u>
地域	6人／7人(85.7)	12人／14人(85.7)	<u>6人増↑</u> 同→

◇90%近くの評価を得ています。さらに評価を上げられるよう取り組み方を検討していきます。

【質問】保護者や地域、教師は、児童のけがや事故の防止に努めている。【事故防止について】

回答者	1回目 (%)	2回目 (%)	増減
児童	70人／70人(100)	69人／70人(98.6)	<u>1人減↓</u> <u>1.4%減↓</u>
保護者	40人／40人(100)	57人／64人(89.1)	<u>27人増↑</u> <u>11.9%減↓</u>
地域	8人／9人(88.9)	13人／16人(81.3)	<u>5人増↑</u> <u>7.6%減↓</u>

◇高い評価を得ています。保護者・地域の方は、いつも通学路を見守ってくださっていると思います。今後もよろしくお願いします。

【質問】児童は、他学年の人たちとも仲がよく、よく遊ぶ。【異学年交流について】

回答者	1回目 (%)	2回目 (%)	増減
児童	64人／71人(90.1)	64人／70人(91.4)	同→ <u>1.3%増↑</u>
保護者	39人／39人(100)	55人／64人(85.9)	<u>16人増↑</u> <u>14.1%減↓</u>
地域	7人／7人(100)	12人／14人(85.7)	<u>5人増↑</u> <u>14.3%減↓</u>

◇保護者や地域の皆さんに対して学校参観の場を設け、児童の様子を見ていただく必要性を感じます。

【質問】児童・保護者は、「早寝・早起き・朝ごはん」の習慣化に努めている。【生活習慣について】

回答者	1回目 (%)	2回目 (%)	増減
児童	57人／69人(82.6)	62人／71人(87.3)	<u>5人増↑</u> <u>4.7%増↑</u>
保護者	35人／40人(87.5)	50人／64人(78.1)	<u>15人増↑</u> <u>9.4%減↓</u>
地域	6人／7人(85.7)	8人／13人(61.5)	<u>2人増↑</u> <u>24.2%減↓</u>

◇保護者・地域の評価が低いと考えます。児童の充実した学校生活の源は、基本的な生活習慣です。学校は、児童全員がこの習慣を身に付けることを望みます。

《「情報発信・地域連携」に関する項目》

【質問】学校は、必要な情報をたよりやホームページ等で伝えている。【情報公開について】

回答者	1回目 (%)	2回目 (%)	増減
児童	53人／56人(94.6)	60人／65人(92.3)	<u>7人増↑</u> <u>2.3%減↓</u>
保護者	33人／37人(89.2)	47人／63人(74.6)	<u>14人増↑</u> <u>14.6%減↓</u>
地域	7人／10人(70)	11人／16人(68.8)	<u>4人増↑</u> <u>1.2%減↓</u>

◇保護者・地域の評価が低いことに反省し、よりこまめに、詳細に情報を発信するようにしていきます。伝わらないときは、ご連絡ください。

【質問】学校は、学校行事や参観日などを通して、積極的に公開している。【開かれた学校について】

回答者	1回目 (%)	2回目 (%)	増減
児童	66人／71人(93.0)	61人／69人(88.4)	<u>5人減↓</u> <u>4.6%減↓</u>
保護者	36人／38人(94.7)	55人／63人(87.3)	<u>19人増↑</u> <u>7.4%減↓</u>
地域	6人／10人(60)	11人／13人(84.6)	<u>5人増↑</u> <u>24.6%増↑</u>

◇およそ85%以上が肯定的ですが、学校としては、2学期は授業参観ができなかったことを反省し、来年度の課題としたいと考えます。

【質問】学校は、学校統合に向けての情報収集・情報公開を適切に行っている。【統合について】

回答者	1回目 (%)	2回目 (%)	増減
児童	72人／72人(100)	72人／72人(100)	<u>同→</u>
保護者	34人／37人(91.9)	50人／64人(78.1)	<u>16人増↑</u> <u>13.8%減↓</u>
地域	8人／9人(88.9)	17人／18人(94.4)	<u>9人増↑</u> <u>5.5%増↑</u>

◇保護者の評価が低く、統合に関する情報発信が少なかったのだらうと反省します。アンケート結果の公表までの時間が長かったことも原因かと考えます。

【質問】教師は、親身に相談に応じ、家庭との連絡を密にしている。【教育相談について】

回答者	1回目 (%)	2回目 (%)	増減
児童	43人／52人(92.3)	59人／68人(86.8)	<u>16人増↑</u> <u>5.5%減↓</u>
保護者	36人／39人(92.3)	55人／63人(87.3)	<u>19人増↑</u> <u>5%減↓</u>
地域	6人／7人(85.7)	12人／14人(85.7)	<u>6人増↑</u> <u>同→</u>

◇85%以上の肯定的評価を得ていますが、より多くの保護者と連絡を密にしていきたいと考えます。心配なことがあれば、まず学校へご相談ください。

【質問】あなたには西小を応援する気持ちが十分にある。

回答者	1回目 (%)	2回目 (%)	増減
保護者	36人／40人(90)	56人／63人(88.9)	<u>20人増↑</u> <u>1.1%減↓</u>
地域	11人／11人(100)	19人／19人(100)	<u>8人増↑</u> <u>同→</u>

◇保護者の約90%が西小を応援してくれていることは、とても心強く思われます。地域の方々は、100%応援してくださる気持ちがあるとの回答をいただきました。今後とも協力願います。

《子どもと関わる時間》

【質問】あなたは、子どもと向き合う時間を確保している。【子どもとのつながり方について】

(児童から見て)教師はあなたの話をよく聞いてくれるか。保護者はあなたの話をよく聞いてくれるか。

回答者	1回目 (%)	2回目 (%)	増減
児童←教師	70人／70人(100)	71人／71人(100)	<u>1人増↑</u> <u>同→</u>
児童←保護者	67人／70人(95.7)	69人／71人(97.2)	<u>2人増↑</u> <u>1.5%増↑</u>
保護者	35人／40人(87.5)	58人／63人(92.1)	<u>23人増↑</u> <u>4.6%増↑</u>

◇児童は95%以上が保護者はよく話を聞いてくれると考え、保護者の90%以上が子どもの話を聞く時間を作っているという結果は、およそ望ましいと考えます。少しずつでも、子どもと向き合う時間が多くなることを望みます。

【個別のご意見について】

○保護者より

(学校から)

・ 家庭学習については、宿題等はやらせているが、じっさいにやる・やらないは本人次第にしている。それ以外では、強要していない。	○ 本人次第というところにも発達段階や個人差があります。「手を放しても、目を放さない」ように、見ていてほしいと考えます。
・ 体力向上については、学校は体力向上に取り組んでいるだろうが、本人にしてみると、リフレッシュ運動は嫌な思いをしている部分がある。	○ 個人差があると思います。「継続は力なり」というように、一人一人が少しずつ伸びていけるように励ましながら進めていきます。
・ 今以上に子供との時間を増やして、一緒に目標に向けて頑張りたい。	○ ありがとうございます。一緒に頑張る姿は、きっとお子さんの励みになると思います。
・ 学校には楽しく通っていない。どちらかといえば嫌々。朝起きるのも苦手。	○ 楽しく通えるようになってほしいところです。朝起きるのが大変な時は、まずは気持ちよく寝ることでしょうか。困っていることがあればご相談ください。
・ 授業の様子や家庭でのことがうまく連絡できていないようで困っています。	○ できる限り、連絡を密にしたいと考えます。お困りの際は、学校にご連絡ください。
・ 持ち物や宿題など、子どもへの連絡では不十分に思います。	○ 学年や発達段階に応じて、連絡の仕方は変わってきます。ご不明な点については、学校にご連絡ください。
・ 小学校にこだわりはなく、児童・地域・先生らが、楽しく、満足できればそれだけでいいと思う。	○ 児童・地域・職員が楽しく満足できることは大切です。満足できるよう、いつでもご相談ください。
・ 子どもが嫌なことをされていた時があり、自分で解決できないので担任に話したら、自分で解決なさいと言われたとのこと。もう少し、親身に相談に応じて欲しかった。	○ ご心配をおかけしました。解決方法にも個人差がありますね。我々も、子どもたち一人一人に寄り添って、相談に応じていきたいと考えます。
・ いじめは、している側は気付かない。嫌なことをされた側が「いじめられた」と思った時点でどんな些細なことであってもそれはいじめだと思うから。悪気はなかったという言葉は、行った行動や発した言葉に無責任だと思ふし、そう言えば許されると思っているようで納得できない。	○ 学校でも「いじめは人間として絶対に許されない」という心情を醸成することを基本方針としています。些細な兆候や疑いを見逃さず、早い段階から関りを持てるようにしていきます。家庭でお子さんから相談されたり、様子がいつもと違ったりしたときには、早めに学校にご相談ください。
・ 今現在、健常者である息子にとっては問題なく通い学べるが、もし下半身麻痺等の障害を持った場合、今まで通り通いたくても通うのは難しいと思う為、「誰もが」にはあてはまらないと思う為。	○ 確かに現在の西小では、まだまだバリアフリーが行き届いていない面があるかと考えます。今後、統合後の小学校の設備についてもご意見を生かせるよう働きかけていきます。(統合小学校は、旧山武南中学校です。エレベーターが設置されています。)
・ 統合について明確に情報が公開されているのかどうかもわかりません。	○ 統合についての情報は、決定されるまで非公開の部分があるようです。進捗状況については、「統合準備委員会だより」や「山武市ホームページ」でも公開されています。詳しくは、山武市教育委員会学校再編推進室(0475-80-1108)まで、お問い合わせください。
・ 部活動は本当によく頑張っています。応援しています。ただ、本人に体力がないからなのか、疲れてしまって家庭学習にまで手が回らないのが実情です。	○ 部活動に取り組む高学年児童は、よく頑張っていると思います。体力も個人差がありますので、一人一人がそれぞれのできる範囲で取り組むことが大切と考えます。私たちも個々をよく見て、助言・指導に努めていきます。

・ 宿泊学習でメール配信が一度もなかったのは不満です。せめて「予定通り」などの連絡は欲しかったです。	○ 4・5学年の宿泊学習では、適切な情報を発信しておらず、大変申し訳ありませんでした。反省し、今後は保護者の皆さんが安心できるように情報発信に努めてまいります。
・ 情報公開に努めていると思いますが、たまに連絡不足と感ずることがあります。宿泊体験の際、子どもたちの様子がまったくメールに来なくて、2日間心配でした。	○ こちらのご意見についても、私たちの不手際で、保護者の皆さんにご心配をおかけしました。大変申し訳ありませんでした。今後はこのようなことがないように、情報の発信に努めてまいります。
・ 家庭では、子どもは自分の意見をなかなか言いません。	○ 近年、ご家庭でも、保護者の皆さんもお子さんも何かと忙しいことが多いかと存じます。「個」や「孤」になりがちではないでしょうか。家族みんなで集まる時間を少しずつでも設けていただけたらと考えます。
・ 学習について、習っていない、やっていない所を家庭で学習させるのであれば、きちんと子どもたちにわかる説明をしてあげてほしいです。	○ 今後、子どもたちへの伝え方については、丁寧にわかりやすく行うように努めていきます。
・ 宿題、直しなどをさせておいて、確認やチェックができないなら、きちんとした量の宿題にしてください。	○ 学級担任に、確認できる量の課題を出すように指導していきます。
・ 授業参観がもっとあると、いろいろとよく分かるかと思います。参観が無理そうなら、自由に参観できるのがあればよいと思います。	○ 2学期は、授業参観ができず、ご心配をおかけしました。自由な参観については、検討していきます。
・ 児童数が少なく、ライバル心が少ない。	○ 統合後は、児童数が多くなりますので、あと1年、お待ちください。
・ コミュニケーション力が乏しい。	○ 学校では、今後、「主体的、対話的で深い学び」を目指していきます。対話、会話をする場面を増やし、コミュニケーション力の向上につなげていきます。
・ 先生、子どもたち、保護者、すべてが噛み合わないで、話し合った所で解決しないと思います。	○ 話し合うことで、解決への糸口を見つけていく必要があるのだと考えます。
・ 子供が4人いるので、1対1で向き合う時間があまり確保できていない。	○ 大変だと思います。少しずつでもよいと考えます。
・ 学校での活動や行動はわかりません。	○ これを機に、話題にしてみてください。

○地域より

(学校から)

・ 当方が知りえた範囲では、夜更かしの児童がいる、朝欠食の児童がいるが、保護者がその習慣化に努めていない人もいます。	○ 改善に向けて、協力していきたい課題だと考えます。
・ 校医ですが、学校（児童、教師ら、教育委員会も含めて）との接点がほとんどないのが現状です。	○ 積極的に、接点を設けるよう考えていきます。
・ いじめの有無については、保護者からの情報を聞いたことがあります。	○ 皆で情報を共有する必要があります。何かあれば、すぐに学校にお知らせください。
・ 地域の行事等の参加においても、地域・学校で積極的に、保護者や児童に参加するような働きが、もっと必要だと思います。	○ 地域行事等への参加について、お互いに協力していけるよう、情報発信に努めたいと考えます。
・ 特定の方々は地域活動で学校とかかわるが、地域として問われると返答に困る。	○ 学校の動きを、もっと地域に伝える必要がありますね。地区回覧等の活用が必要と考えます。
・ 情報提供手段がないようなところがある。	○ 統合に向けて、地域の方々の協力を得られるように、情報発信・受信方法を考えていきます。

・ 情報発信については、当方で知っていることと、そうでないことがあるため。	○ 学校と地域の連携を、より強くしたいと考えます。
・ 情報公開において、前回のアンケートで回収率が低かったことで判断する限りにおいて「積極的」とは思えません。	○ 学校としても、もっと地域の方が参加しやすい方法を検討する必要性を感じます。
・ 学習塾に頼るだけでなく、家庭での学習時間(復習・予習)を規律よく設定して学習時間を持ったらいよいと思います。	○ 家庭学習の充実を、地域としても心配しているということですね。
・ 「早寝・早起き・朝ごはん」は、保護者の仕事ですから、ただ起こせば良い、ただ食べさせれば良いというものでもないでしょう。自戒も含め控えめにつけました。当方の知りうる限りでは、夜更かしの児童がいると思われる為。	○ 地域の方から見ると、もう少し頑張ってほしいと見えるところもあるということですね。
・ 児童がいなく、良くわかりません。 ・ 当地区では、学校に行くような子供がいません。(老人・成人ばかり)のため、お答えできません。	○ 学校からの発信を多くし、地域を巻き込み、学校や児童の様子について知ってもらい取り組みを増やす必要がありますね。
・ 地域に小学生が少なくなっており、接触が少なくなっている。地域としては、ごみゼロ運動や地域の集い等の行事を通じ、公共性の向上に努めています。	○ 地域と児童の触れ合う機会を、学校としても地域としても企画しなければなりませんね。
・ 学校内部の情報が少なく、(方法？届いてない？)結果的に分からない。今回は便りがまとめて送られてきたが。	○ 定期的に、地区回覧などを活用して、学校の情報を発信するの必要を感じました。

【学校評価アンケートをまとめて】

保護者、地域の皆様には、学校評価アンケートにご協力いただき、誠にありがとうございました。また、アンケート結果の報告が学年末になったこととお詫び申し上げます。

今年度、2回のアンケートを実施しましたが、1回目は回収率が低く、適正な評価を得ることが困難でした。しかし、2回目には保護者の回収率は84%を超え、皆様のご意見の概要がつかめたと考えます。

下表は、2回目の評価結果を学校教育目標の「知」「徳」「体」「情報発信・地域連携」に関わる項目ごとに肯定的な評価を得た割合を表したものです。どの項目も**平均85%以上の肯定的評価**を得ていました。

今回の評価結果を、次年度の教育活動に反映させていく所存です。本校は次年度末で閉校となりますが、今後も忌憚のないご意見をいただき、子どもたちのために、ともに歩んでいきたいと存じます。

令和2年3月23日
山武市立山武西小学校 校長 戸村 恒夫

山武西小学校 学校評価アンケート（令和元年度 第2回） 集計結果まとめ		
※ 保護者用アンケートの質問文章でまとめています。		児童・職員・保護者・地域
No.	質問項目	肯定的な回答者数の割合（%）
6	教師は、新しい教材や教具を用いて、学力の向上に努めている。	89.6
7	児童は、基礎的な学習内容を身につけている。	89.0
8	児童は、自分の考えを説明する力を身につけている。	71.7
13	保護者は、家庭学習等を応援している。	86.2
16	児童は、体験活動を通して、自然環境に親しみを持っている。	91.7
「知」に関する項目		平均 85.6%

1	児童は、楽しく(夢や目標を持ち)学校に通っている。	91.1
4	児童は、係や当番活動などで、自分の役割を果たしている。	94.9
5	児童は、挨拶や返事などの習慣が身についている。	87.2
12	児童は、いじめをされたり、したりしていないと思う。	82.2
17	学校は、誰もが学びやすい教育の環境を整えている。	88.8
「徳」に関する項目		平均 88.8%

9	児童は、積極的に運動し、健康な体作りに取り組んでいる。	86.2
10	学校は、適切に児童の体力向上に取り組んでいる。	89.2
11	保護者は、児童のけがや事故の防止に努めている。	88.2
18	児童は、他の学年の人たちとも仲がよく、よく遊ぶ。	89.2
19	保護者は、「早寝・早起き・朝ごはん」の習慣化に努めている。	79.1
「体」に関する項目		平均 86.4%

2	学校は、必要な情報を各種たよりやホームページ等で伝えている。	82.6
3	学校は、学校行事や参観日などを通して、積極的に公開している。	87.8
14	学校は、学校統合に向けての情報収集・情報公開を適切に行っている。	90.9
15	教師は、親身に相談に応じ、家庭との連絡を密にしている。	87.7
21	あなたには、西小学校を応援する気持ちが十分にある。	92.5
「情報発信・地域連携」に関する項目		平均 88.3%